西　原　陽　子

（情報理工学部）

「ことば×分析」コミュニケーション支援

・**ことば**の情報を用いたコミュニケーション

・**ことば以外**の情報を用いたコミュニケーション

他者と社会的なつながりを持つ上でコミュニケーションは欠かせません。他者とコミュニケーションを取るとき、人間は様々な手段を使います。視線や身振り手振りに加え、ことばも使います。私の研究では人間が使うことばを分析し、わかりやすく可視化することによって人間のコミュニケーションを支援しています。

●**テキストマイニング**：文章を分析して、重要なポイントや希少価値の高いポイントを抽出します。

●**情報可視化**：ことばを分析した結果がことばで出てしまうと分かりにくいので、人間にとって分かりやすい形になるよう情報を可視化します。

●**自然言語生成**：人間のことばの使い方をコンピュータに学習させ、人間がするように発話や文章を生成します。

所　属

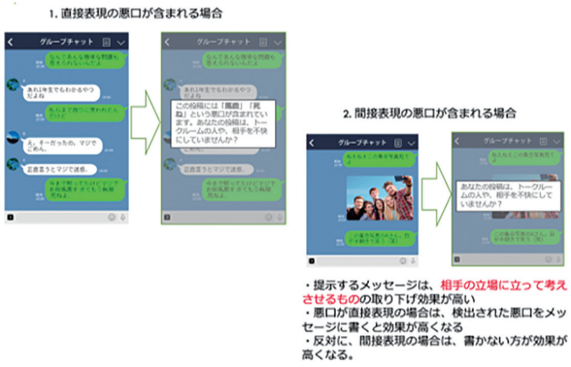
情報理工学部　情報理工学科

研究テーマ

■情報技術を用いたネットいじめの防止
■フレイル予防のためのチャットボットの開発
■マンガの内容検索を支援するインタフェース

キーワード

自然言語処理、テキストマイニング、情報可視化、コミュニケーション支援、インタラクション支援

セルフトークメッセージの呈示による悪口投稿取り下げの効果分析

悪口の投稿により行われるネットいじめを防ぐ方法として、情報科学では情報フィルタリング技術が研究され、悪口を検知してそれを表示させない取り組みが行われています。しかし、フィルタリングがないところでは悪口は投稿されてしまうため、本当に必要なものは悪口を投稿させないようにすることだと考えています。この研究では、ある人が意図しない悪口を投稿仕掛けたときに、情報システム側からどのようなメッセージを示すと悪口投稿の取り下げが行われやすいかを調べました。